



FIBER

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈繊維とスポーツ(2)〉

||| 報 文 ||| Original Articles

田中研究室

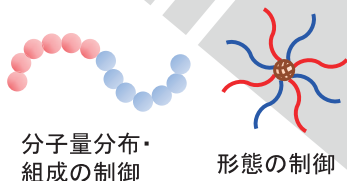


プラスチックや繊維に代表される有機・高分子材料の表面や界面ではその内部とは異なったエネルギー状態にあるので、表面や界面の構造と物性はバルクのそれとは異なります。したがって、**表面や界面の構造と物性**を正確に理解し制御できれば、有機・高分子材料の機能性を飛躍的に高めることが可能となります。このようなコンセプトのもと、私たちは高分子科学、物理化学、表面・界面科学を中心とした実験研究を行っています。

高分子・界面

設計

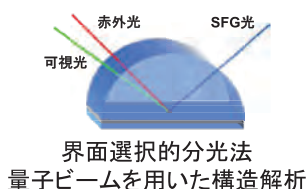
精密高分子合成



創製

構造・物性

分子鎖凝集構造・ダイナミクス評価



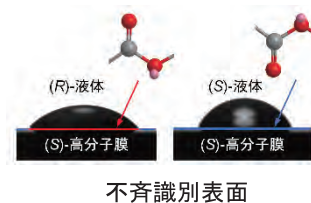
Soft Matter



理解

超分子

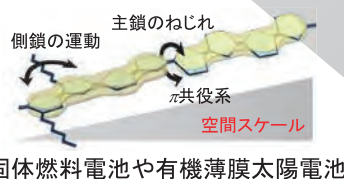
界面機能発現



機能化

デバイス

分子鎖熱運動性とデバイス機能



バイオ

生体機能制御



PCCP



サイエンスと工学の融合

材料応用

キーワード: 精密分子設計、多分岐高分子、界面創製、分子鎖凝集状態、分子鎖ダイナミクス、高分子ナノ複合材料、サステナブルエネルギー、分子運動特性、異種相界面、グリーンプラスチック、バイオスキャホールド、血液適合性、不均一性、超分子ポリマー、機能性界面



【連絡先】

TEL: 092-802-2879, FAX: 092-802-2880

<http://www.cstf.kyushu-u.ac.jp/~tanaka-lab/cgi-bin/>

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 人間環境学専攻 衣環境学研究室

研究内容

- ・材料特性から、風合い・動きやすさ・
温熱的な快適性を評価
- ・繊維と糸の物理特性の基礎研究

ヒトが触れて使うものが研究対象です！

一緒に研究
しませんか！



〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11

Tel: 078-803-7772

E-mail: inouema@kobe-u.ac.jp

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/node/1075>

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

世界のニーズへ… 未来のニーズに…

私たちは、高機能繊維のリーディングカンパニーとして多様化するニーズに対応すべく新しい製造・加工技術と高機能素材を組み合わせる新しい価値を創造します。

Technora®

パラ系アラミド繊維「テクノーラ®」

高強度を有し、耐薬品性、耐熱性、耐疲労性にも優れる。ベルト、ホースなどのゴム補強や樹脂補強、コンクリート補強に使用。

Twaron®

パラ系アラミド繊維「トワロン®」

高強度、高弾性率、寸法安定性、耐衝撃性などの優れた特性を有する。アスベスト代替素材としてのブレーキパッドやガスケット、防護手袋などに使用。

Teijinconex®

メタ系アラミド繊維「コーネックス®」

長期耐熱性、難燃性、耐薬品性に優れる。耐熱フィルターをはじめとする産業資材や消防服などに使用。

SOLOTEX®

「ソロテックス®」

SOLOTEX®はポリトリメチレンテレフタレート (PTT) 繊維です。パネのような分子構造によって、ポリエステルとナイロンの良さを持ち、ストレッチ性、柔らかな風合いで、天然繊維や化繊との複合がしやすい素材です。

BELL OASIS®

「ベルオアシス®」

吸水性能は自重の80倍、吸湿性能としては150%を有し、その他にも難燃性、消臭性能を持つ画期的な高吸水・高吸湿繊維です。

NANOFRONT®

「ナノフロント®」

世界初、直径700ナノメートル超ファインポリエステルナノファイバー「ナノフロント®」。長繊維構造で織り上げられた繊維の表面積は、従来繊維のなんと数十倍にも達します。そのため吸水性や吸着性、防透性が向上し、生地が柔らかく、皮膚への刺激も格段に少なくなりました。

帝人株式会社
高機能繊維事業本部

感知する グローバル コンバーター。

帝人フロンティアは、常に顧客の期待を上まわります。

4つの強みを活かして、帝人グループ素材をコアにしたあらゆる繊維のソリューションビジネスを展開します。

商品企画・提案機能

素材提案・調達機能

海外生産・供給機能

産業資材調達機能

価値を創造するグローバルコンバーター

帝人フロンティアは技術力と営業力を直結した集団。感応するフロンティアマインドを持ち、市場の最前線でニーズを発掘し、顧客の求めるソリューションをいち早く創出します。

帝人フロンティア株式会社

(お問い合わせ) <http://www2.teijin-frontier.com/contact/common/index.html>

羊毛の構造と物性

- 編集：日本羊毛産業協会
- 発行：株式会社 繊維社 企画出版
<https://www.sen-i.co.jp>
- B5判 220ページ 上製本
- 販売：5,800円
(本体5,000円+税400円+送料400円)

多目的にご活用下さい。

- ▶天然繊維・合成繊維開発に
- ▶染色加工、商品企画開発に
- ▶縫製、ファッション、流通に
- ▶公設試験・各種検査機関に
- ▶大学・研究者、化粧品業界に

羊毛の構造と物性

日本羊毛産業協会 編集

繊維社 企画出版

第一部 基礎編

第1章 羊毛と獣毛

- 1.1 人間と羊毛の歴史
- 1.2 羊の仲間たち
元・IWS業務統括部長 大内 輝雄
- 1.3 繊維の鑑別
- 1.4 ウールグリース
日本羊毛産業協会 専務理事
(元・日本毛織(株) 東京支社長)
長澤 則夫

【獣毛とその電顕写真】

第2章 羊毛繊維の構造

- 2.1 形態と構造
- 2.2 キューティクル
- 2.3 コルテックス
- 2.4 CMC
- 2.5 微細構造
元・独立行政法人
農林水産消費安全技術センター
坂部 寛

第3章 羊毛の七不思議

- 3.1 水をはじくが水を吸う
- 3.2 よく染まるが、汚れにくい
- 3.3 細胞は死んでいるが、呼吸をする
- 3.4 水を吸うのに、保温性は優れている
- 3.5 燃えにくい
- 3.6 紡ぎやすさとフェルト性
- 3.7 形状記憶性により弾力性に富む
羊毛加工技術事務所 代表
(元・IWS/WNZ開発部長)
梅原 亮

第4章 消費性能(物性評価と利用)

- 4.1 織度、繊維長
- 4.2 チクチク感
- 4.3 弾力性
元・IWS 柴田 豊
- 4.4 ピリングとネップ
- 4.5 摩擦とテカリ
- 4.6 形態安定性と収縮
元・千葉大学 教育学部 教授
三ツ井 紀子
- 4.7 セット
- 4.8 ハイグラルエクспанション (HE)
日本羊毛産業協会 専務理事
(元・日本毛織(株) 東京支社長)
長澤 則夫
- 4.9 フェルト性、防縮性
元・日本女子大学 家政学部 教授
島崎 恒蔵
日本羊毛産業協会 専務理事
(元・日本毛織(株) 東京支社長)
長澤 則夫
- 4.10 消臭機能
- 4.11 金属吸着
羊毛加工技術事務所 代表
(元・IWS/WNZ開発部長)
梅原 亮
- 4.12 布の風合い
ニッケ(日本毛織(株))研究開発センター
馬場 武一郎

第5章 物性理論

- 5.1 羊毛繊維の力学的性質
カトーテック(株) 技術顧問
(元・金沢大学 教授)
松平 光男
- 5.2 羊毛繊維の化学的性質
KRA羊毛研究所 所長
(元・群馬大学 教授) 新井 幸三

本書の内容

- 5.3 水との関係
兵庫教育大学 教授、副学長
福田 光完
- 5.4 消費性能
和洋女子大学 家政学群
服飾造形学類 助教 長嶋 直子
元・東京家政大学 家政学部長
(大阪府立大学名誉教授) 高岸 徹
- 5.5 熱的性質
椋山女学園大学 生活科学部 教授
上甲 恭平
- 5.6 光に対する性質
昭和女子大学 副学長、教授
小原 奈津子

第6章 機器分析

- 6.1 顕微鏡を用いた羊毛繊維の観察
滋賀県東北部工業技術センター
主任技師 岡田 倫子
ホーユー(株) 総合研究所 名和 哲兵
- 6.2 X線回折
花王(株) ヘアケア研究所
上席主任研究員 伊藤 隆司
- 6.3 IR、ラマン分光法
(株)サニープレイス 研究開発課
主席研究員 葛原 亜起夫
- 6.4 示差走査熱量分析DSC
椋山女学園大学 生活科学部 教授
上甲 恭平
- 6.5 XPS
地方独立行政法人
大阪府立産業技術総合研究所
田原 充
- 6.6 MS、TOF-SIMS
花王(株) 解析科学研究所
上席主任研究員 岡本 昌幸

第二部 応用編

第1章 ケラチンの分子構造

第2章 羊毛の形態構造

第3章 コルテックスの構造

第4章 細胞膜複合体の構造

第5章 ジスルフィド架橋の構造

第6章 水の収着位置とその役割

(第1章～第6章) KRA羊毛研究所 所長
(元・群馬大学 教授) 新井 幸三

第7章 羊毛繊維

秩序ある不均一細胞組織集合体

椋山女学園大学 生活科学部 教授
上甲 恭平

第8章 羊毛製品の快適性

文化学園大学名誉教授、
同大学院特任教授 田村 照子

第9章 風合いの科学

神戸大学大学院
人間発達環境学研究所 教授
井上 真理

予告 英語版ホームページ 今秋スタート

●お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056

大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル 5F)

Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899

E-mail: info@sen-i.co.jp <https://www.sen-i.co.jp>

繊維学会誌

平成 27 年 9 月 第 71 巻 第 9 号 通巻 第 834 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】 繊維学会誌の刷新 髪谷 要 ... P-437
- 【特 集】 〈繊維とスポーツ(2)〉
- 健康・快適を科学する「A-cubic」の視点からのスポーツ素材開発 出口 潤子 ... P-438
- ナノファイバーによるアウトドア用衣類の開発 金 翼水 ... P-443
- グラファイトシャフトの変遷 加藤 良和 ... P-446
- 【解 説】 絹の研究(5) 絹の物性と構造 I 馬越 淳・馬越 芳子・田中 稔久 ... P-449
- 【連 載】 〈業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座-12〉
- 第 4 編 編物の基礎知識 田中 幸夫・橋詰 久 ... P-459
- 【繊維学会創立70周年記念連載】 〈技術が支えた日本の繊維産業-生産・販売・商品開発の歩み-24〉
- 染色加工業の盛衰(3) 松下 義弘 ... P-472
- 【海外ニュースレター】 P-482

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】 Effect of Drawing Speed on Infusion and Drawing Behaviors of Poly(ethylene terephthalate) Filaments upon Cold Drawing in Ethanol
..... Rina Khanum, Dong Woo Go, Wataru Takarada,
Arun Aneja, and Takeshi Kikutani ... 273
- The Cluster Size and Change of Water Molecules in Poly(vinyl alcohol) Film by Heating
..... Saori Tamura and Ryo Oono ... 284
- リサイクルアシパルプ叩解におけるカルボキシメチルセルロースナトリウム添加の影響およびシート特性変化 金 海蘭・趙 駿衡・岡山 隆之・陳 礼輝・李 堅 ... 291

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 71, No. 9 (September 2015)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Renovation of Our Journal Kaname KATSURAYA ... P-437

〈Special Issue on Fibers for Sports Uses(2)〉

New Sports Textiles by 「A-cubic」 Whose Concepts in Health and Comfort Junko DEGUCHI ... P-438

Development of Clothing for Outdoor by Nanofibers Kim Ick SOO ... P-443

History of Graphite Golf Shaft Yoshikazu KATOU ... P-446

〈Review〉

Studies of Silk (5) Physical Properties and Structure of Silk I

..... Jun MAGOSHI, Yoshiko MAGOSHI, and Toshihisa TANAKA ... P-449

〈Series on Fiber Basic Course Lectured by Professional Engineers-12〉

Basic Knowledge of Knitting Yukio TANAKA and Hisashi HASHIZUME ... P-459

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development–24〉

Rise and Fall of Textile Dyeing Processing Industries (3) Yoshihiro MATSUSHITA ... P-472

〈Foreign News Letter〉 P-482

[Original Articles]

〈Transactions〉

Effect of Drawing Speed on Infusion and Drawing Behaviors of Poly(ethylene terephthalate)

Filaments upon Cold Drawing in Ethanol

..... Rina KHANUM, Dong Woo GO, Wataru TAKARADA,
Arun ANEJA, and Takeshi KIKUTANI ... 273

The Cluster Size and Change of Water Molecules in Poly(vinyl alcohol) Film by Heating

..... Saori TAMURA and Ryo OONO ... 284

Effects of Carboxymethyl Cellulose Sodium Addition on Properties of Beaten Recycled Reed

Pulps and the Handsheets

..... Hailan JIN, Junhyung CHO, Takayuki OKAYAMA, Lihui CHEN, and Jian LI ... 291

Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

Vol.71 No.9

September 2015

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transactions]

Effect of Drawing Speed on Infusion and Drawing Behaviors of Poly(ethylene terephthalate)

Filaments upon Cold Drawing in Ethanol Rina Khanum, Dong Woo Go, Wataru Takarada,

Arun Aneja, and Takeshi Kikutani ... 273

The Cluster Size and Change of Water Molecules in Poly(vinyl alcohol) Film by Heating

..... Saori Tamura and Ryo Oono ... 284

Effects of Carboxymethyl Cellulose Sodium Addition on Properties of Beaten Recycled Reed

Pulps and the Handsheets

..... Hailan Jin, Junhyung Cho, Takayuki Okayama, Lihui Chen, and Jian Li ... 291

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

繊維学会誌「報文」活性化と正確な引用文献表記をお願い致します — 繊維学会誌引用の際は“Sen’i Gakkaishi”と表記してください —

繊維学会誌では論文誌としての価値を高めて、より一層会員の皆様、投稿者の皆様に貢献したいと考えております。

これまで以上に積極的な御投稿をお願い申し上げますとともに、本誌を含め各種学術雑誌に研究成果を御発表されます場合には、繊維学会誌の積極的な引用についても併せてお願い申し上げます。

特に引用を頂く際には、誌名の正確な綴りにもご留意いただきますようお願いいたします。現在の繊維学会誌「報文」は、“Sen’i Gakkaishi”(n と i の間はアポストロフィでハイフンではありません)の表記をお使いいただきますようお願いいたします。

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ペタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

「報 文」編集委員 Sen’i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	髪 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(京都大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2014 & 2015)

President T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

Vice-Presidents T. Kanaya (Kyoto University)

K. Hamada (Shinshu University)

H. Murase (Toyobo Co., Ltd.)

Member-promoting Officer M. Tokita (Tokyo Institute of Technology)

Editor in Chief “Sen’i to Kogyo” A. Tsuchida (Gifu University)

Editor in Chief “Sen’i Gakkaishi” K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

Treasurers H. Oikawa (Tohoku University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

K. Inomata (Nagoya Institute of Technology)

K. Hisada (University of Fukui)

H. Urakawa (Kyoto Institute of Technology)

K. Tanaka (Kyushu University)

Planning Officers T. Iwata (The University of Tokyo)

M. Aoyama (Toray Industries, Inc)

K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

A. Tsuchida (Gifu University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)



会 告

2015

Vol. 71, No. 9 (September 2015)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
27. 9. 5(土) 12(土)	平成 27 年度高性能・高機能繊維講座〈大阪会場〉(大阪市・大阪産業創造館)	A8
9. 26(土) 10. 3(土)	平成 27 年度高性能・高機能繊維講座〈名古屋会場〉(名古屋市・ウインクあいち)	A8
10. 9(金) 11. 6(金) 20(金) 12. 11(金)	京都工芸繊維大学 平成 27 年度教育推進事業 すごいぞ“繊維”塾 第二弾～日本の繊維産地に学ばせんいの真髄～(公開塾)(京都市・京都工芸繊維大学 60 周年記念会館(第 1、2 回)、京都工芸繊維大学大学院会議室(第 3 回)、京都工芸繊維大学センターホール(第 4 回))	A7
10. 22(木) 23(金)	平成 27 年度秋季研究発表会(京都市・京都工芸繊維大学)	A3～4
10. 29(木)	第 54 回機能紙研究発表・講演会「機能紙、消費者志向から価値主導の時代に向けて」(高松市・サンポートホール高松)	A8
11. 7(土) 14(土) 21(土)	平成 27 年度 JTCC 繊維ベーシック講座〈大阪会場〉(大阪市・大阪産業創造館)	A8
11. 14(土) 21(土) 28(土)	平成 27 年度 JTCC 繊維ベーシック講座〈福井会場〉(福井市・福井県中小企業産業大学校 第 2 中教室)	A8
11. 21(土) 28(土)	平成 27 年度 JTCC 繊維ベーシック講座〈名古屋会場〉(名古屋市・ウインクあいち)	A8
12. 2(水)	京都工芸繊維大学繊維科学センター「第 5 回東京地区講演会」新しい繊維の展開－連携の可能性を探る(東京都・学生情報センターナジックプラザ東京)	A6
12. 5(土)	第 43 回「感性研究フォーラム」講演会 接客の感性－ホテル(ホスピタリティ)と旅館(おもてなし)－(西宮市・武庫川女子大学甲子園会館(旧甲子園ホテル))	A7
12. 12(土)	第 29 回東海支部若手繊維研究会(名古屋市・金城学院大学)	A7
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成26年 1 月号
	訂正・変更届用紙	平成26年 3 月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長 土田 亮(岐阜大学)

編集副委員長 髯谷 要(和洋女子大院) 出口 潤子(旭化成せんい(株))

編集委員 植野 彰文(KBセーレン(株)) 大島 直久(東海染工(株)) 金 翼水(信州大学) 小寺 芳伸(三菱レイヨン(株))

澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 高崎 緑(京都工芸繊維大院) 田村 篤男(帝人(株)) 寺本 喜彦(東洋紡(株))

西田 幸次(京都大学化学研究所) 西村 高明(王子ホールディングス(株)) 増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大学)

吉田 耕二(ユニチカトレーディング(株))

顧問 浦川 宏(京都工芸繊維大院)

平成27年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成 27 年度 秋季研究発表会	平成27年10月22日(木)～10月23日(金)	京都工芸繊維大学(京都市左京区)
平成 27 年度 繊維の応用講座	平成27年12月 4 日(金)	日本女子大学・目白キャンパス (新泉山館大会議室)
平成 27 年度 繊維技術講座	平成28年 2 月19日(金)	東工大蔵前会館(ロイヤルブルーホール)

平成28年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成 28 年度 総会・年次大会	平成28年 6 月 8 日(水)～6 月10日(金)	タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀)

繊維学会誌の刷新について

日頃より繊維学会ならびに繊維学会誌へのご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

6 月の通常総会でもご報告の通り繊維学会では創立 70 周年記念事業の一環として学会誌の改革を進めており、2016 年(平成 28 年)1 月号から内容の一層の充実と迅速な公開を目指して下記の通り学会誌が刷新されます。

□繊維学会誌「繊維と工業」(Sen'i To Kogyo)

→繊維学会誌(Sen'i Gakkaishi) [冊子体]

□繊維学会誌「報文」(Sen'i Gakkaishi)

→Journal of Fiber Science and Technology (JFST) [オンラインジャーナル]

「繊維と工業」は「繊維学会誌」と誌名を変更し「報文」と明確に分離され、一層内容の充実を図りながらこれまで同様冊子体として月刊で発行されます。

一方「報文」は JFST として独立し、これまでの冊子体からオンラインジャーナル誌になり、J-Stage 上に月刊で発行されます。これにより JFST ではフルカラーが標準となり、追加料金無しでカラー原稿を御投稿いただけるようになり、また迅速な査読と公開を推進するために、web 投稿査読システムを導入し皆様の御期待に応じて参ります。

この改革にともない、以下の通りご案内させていただきます。

- ①「報文」に既に御投稿いただいております原稿、ならびに今後御投稿いただいた原稿のうち掲載が 2016 年 1 月号以降になる分は JFST への掲載になります。
- ②JFST もこれまで同様、和文、英文のいずれでも御投稿いただけます。
- ③JFST の全ての論文の Abstract が冊子体の繊維学会誌に掲載され、主として冊子体をご覧になる会員各位にもタイムリーに情報をご提供して参ります。全文はいつでも J-Stage でご覧頂けます。
- ④web 投稿査読システムへの切換えは 2015 年内に完了することを目指しております。これに伴って原則全ての投稿を web 上で行って頂くこととなりますが、インターネット環境等の問題で他の方法をご希望される場合は事前に事務局または編集委員長までご相談ください。

以上を御理解賜り、刷新される学会誌への益々の御支援をよろしくお願い申し上げます。引き続き「報文」・「JFST」への会員各位からの積極的な御投稿をお待ち申し上げます。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

(一社)学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618、FAX : 03-3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone : 1-978-750-8400 FAX : 1-978-646-8600

平成 27 年度繊維学会秋季研究発表会

■ 研究発表会・ポスター発表参加募集および参加要領

主 催：一般社団法人 繊維学会

日 時：平成 27 年 10 月 22 日(木)～23 日(金)

場 所：京都工芸繊維大学

京都市左京区松ヶ崎橋上町 1

京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車、徒歩 8 分

キャンパスへは以下の HP をご覧ください。

受付は東部構内 60 周年記念館になる予定です。

最寄り駅(松ヶ崎駅)からの詳細地図：

http://www.kit.ac.jp/uni_index/matsugasaki/

キャンパスマップ：

http://www.kit.ac.jp/uni_index/campus-map/

研究発表会：一般研究発表およびポスター発表を行います。

研究発表分野

1. 繊維・高分子材料の創製
2. 天然繊維・生体高分子(紙・パルプ 天然材料・ナノファイバー バイオポリマー 生分解性材料)
3. 繊維・高分子材料の物理
4. 成形・加工・紡糸(ナノファイバー 繊維・フィルム、複合材料・多孔体 染色・機能加工)
5. 繊維・高分子材料の機能(オブティクス・フォトニクス 接着・界面/表面機能)
6. ソフトマテリアル(ブレンド・ミクロ相分離 ゲル・エラストマー 液晶 コロイド・ラテックス)
7. バイオ・メディカルマテリアル
8. テキスタイルサイエンス

研究発表形式

・口頭発表：発表 15 分、質疑応答 4 分、交代 1 分。

・ポスター発表：ポスターサイズ：90cm×120cm

ポスター発表には若手部門(平成 27 年 10 月 22 日で満 35 歳以下の研究者)を設け、優秀発表者を表彰します。発表申し込みの備考欄に「若手部門」への応募をご記入ください。

なお、ポスターの貼り付け、取り除き、発表時間などは後日お知らせします。

発表プログラム：後日掲載予定

予稿集原稿投稿締め切り：平成 27 年 9 月 25 日(金)

(注意)締め切り寸前は WEB が混み合いますので、早めの申込および投稿をお勧めします。締め切り期限を過ぎますと自動的に WEB が閉鎖されてしまい受け付けられなくなりますので、ご注意ください。

発表方法：口頭発表には液晶プロジェクターが準備されていますが、パソコンは発表者自身をご持参ください。

予稿原稿の書式：以下に示す予稿原稿投稿システムで“PDF ファイル”の予稿を投稿することで行ってください。PDF ファイル以外は受理できません。予稿は書式に従って準備ください。

■ 参加登録の方法

参加申込：参加者は、繊維学会ホームページの秋季研究発表会参加申込用紙に必要事項をお書きいただき、WEB にて申込みをしてください。なお、参加登録は参加費入金をもって受理されますので、事前登録締切日までに下記の「送金方法」をご覧ください。振込手数料等は各自でご負担ください。

(注)繊維学会会員番号(個人会員、学生会員の方)および協賛学協会を必ずご記入ください。未記入の場合には非会員扱いとなりますので、ご注意ください。

(1) 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人繊維学会 平成 27 年度繊維学会秋季研究発表会係

(2) 銀行振込：三菱東京 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通口座 4287837

(加入者名)一般社団法人繊維学会

(3) 郵便振替：口座番号 00160-9-756624

(加入者名)一般社団法人繊維学会秋季研究発表会

懇親会：10 月 22 日(木) 18 時 30 分より、からすま京都ホテルにて開催予定です。

からすま京都ホテル：(京都市営地下鉄烏丸線四条駅下車南出口 6 よりすぐ)

<http://karasuma.kyotohotel.co.jp/index.html>

参加登録料：

	繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
事前登録	8,000 円	15,000 円	3,000 円	6,000 円
当日登録	10,000 円	18,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費：

	繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
事前登録	7,000 円	7,000 円	3,000 円	3,000 円
当日登録	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

- (注) 1. 参加登録料には、学会予稿集 1 冊が含まれます。
2. 予稿集の事前送付はいたしませんので御了承ください。
3. 懇親会のみに参加される方は、懇親会費のみを御送金ください。
4. 研究発表会、ポスター発表および懇親会への参加は、全員事前登録を原則とします。
5. 事前登録締め切り後は、すべて当日登録となります。
6. 当日登録は会場の受付に直接お越しください。

本研究発表会に関して、ご不明な点がございましたら次のアドレスまでメールでお問い合わせください。(京都工芸繊維大学繊維科学センター：fiber@kit.ac.jp)

なお、学会に関してご不明な点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

その他：不測の事態が生じた場合は、WEB 上で告知することをご承知おきください。

■ 重要な締切日時

原稿送付期限：要旨原稿送付締め切り：平成 27 年 9 月 25 日(金)

参加登録期限：事前参加登録申込締め切り：平成 27 年 10 月 16 日(金)

■ 平成27年度繊維学会秋季研究発表会実行委員会

実行委員長：浦川 宏(京工繊大)

副実行委員長：村瀬浩貴(東洋紡)、井上真理(神戸大)、山根秀樹(京工繊大)、田中克史(京工繊大)

実行委員：川瀬徳三(京工繊大)、青木隆史(京工繊大)、老田達生(京工繊大)、奥林里子(京工繊大)、康健(京工繊大)、櫻井伸一(京工繊大)、佐々木 園(京工繊大)、澤田和也(大阪成蹊大)、榊原圭太(京大化研)、高崎 緑(京工繊大)、中野恵之(兵庫工技センター)、橋本朋子(奈良女大)、増谷一成(京工繊大)、松原孝典(産技短大)、箕田雅彦(京工繊大)、安川涼子(奈良女大)、安永秀計(京工繊大)、山本真揮(京工繊大)、綿岡 勲(京工繊大)

平成 27 年度繊維学会各賞授賞候補者募集

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦(応募)を求めています。平成 27 年度も例年通り、各賞の表彰を行いたく受賞候補者の推薦または応募を頂きますようお願い申し上げます。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の繊維学会誌に投稿されました報文から選考されます。

推薦(応募)書類は、下記の所属支部長または学会事務局へ期限までに提出をお願いします。

- ・推薦(応募)書類はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> の学会賞に掲示してありますので、ダウンロードしてご利用ください。
- ・会員(維持会員、賛助会員を含む)は受賞候補者の資格を有し、自薦・他薦を問わない。
- ・推薦(応募)書類の提出期限は平成 27 年 12 月 25 日(金)迄です。
- ・歴代受賞者はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> に掲載しています。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 60 歳以上の本会会員で、多年にわたり繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：原則、5 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 51 歳未満の本会会員で、繊維科学について独創的で優秀な研究を行い、さらに研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：原則、2 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

3. 技術賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：原則として、技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

4. 論文賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維科学および繊維技術に関し、その年の本会会誌(平成 27 年 1 月号～12 月号)に報文(論文)を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

5. 奨励賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 36 歳未満の本会会員で、繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：原則として、3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞授与。

6. 紙・パルプ論文賞(事前に事務局へお問い合わせください)

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 40 歳未満の本会会員で、過去 5 年間に本会会誌に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 推薦(応募)書類は、学会事務局へ期限までに提出をお願いします。
- ③ 表彰の件数：原則として、1 件以内。
- ④ 表彰状、賞牌および副賞授与。

問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp

支 部 名	支部長名	所 在 地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	及川 英俊	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学多元物質科学研究所	022-217-6357 oikawah@tagen.tohoku.ac.jp
関 東 支 部	荻野 賢司	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学大学院工学研究院 応用化学部門	042-388-7404 kogino@cc.tuat.ac.jp
東 海 支 部	猪股 克弘	〒468-8511 愛知県名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学大学院 しくみ領域 工学研究科	052-735-5274 inomata.katsuhiko@nitech.ac.jp
北 陸 支 部	久田 研次	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学大学院 工学研究科 繊維先端工学専攻	0776-27-8574 k-hisada@u-fukui.ac.jp
関 西 支 部	浦川 宏	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7567 urakawa@kit.jp
西 部 支 部	田中 敬二	〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院工学研究院 応用化学部門	092-802-2878 k-tanaka@cstf.kyushu-u.ac.jp

京都工芸繊維大学繊維科学センター「第5回東京地区講演会」

新しい繊維の展開 ― 連携の可能性を探る

協 賛：繊維学会、日本繊維機械学会(関東支部、繊維・未来塾)、日本繊維製品消費科学会、日本発ものづくり提言プロジェクト、京都市産業技術研究所、日本繊維技術士センター

日 時：平成27年12月2日(水) 13:00-17:15(12:30受付開始)

場 所：学生情報センターナジックプラザ東京

東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号青山オーバルビル15階

定 員：80名

参加費：無料

【プログラム】

司会：繊維科学センター 教授 佐藤哲也

◆開会の辞

13:00-13:10

京都工芸繊維大学長 古山正雄

13:10-13:20 ご挨拶

文部科学省産業連携・地域支援課室長補佐 西島宗明氏

◆研究紹介 京都工芸繊維大学及び共同研究を行う公設試験機関の研究紹介

13:20-14:50

「無水染色加工とその現状」

繊維学系 奥林里子

「世界初、ゼログラフィーの原理によるデジタル捺染システムの商品化」

(地独)京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター長 早水 督

「溶媒フリーのナノファイバー紡糸法の開発と今後の展望」

材料化学系 高崎 緑

「綿繊維廃棄物からのエタノール製造技術」

兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター主席研究員 中野恵之

「繊維業界におけるイノベーションと市場開拓」

基盤科学系 坂本和子

「視覚・触感に訴える布の付加価値」

繊維学系 鋤柄佐千子

14:50-15:00 休憩

◆特別講演

15:00-15:30 「繊維産業の課題と展望」

経済産業省製造産業局繊維課長 寺村英信氏

◆パネルディスカッション TX×AP⇔C(消費者)

テキスタイルとアパレル製造業の連携で新たな発展を

15:30-17:10

司会：

繊維科学センター特任教授 松下義弘

パネリスト：

経済産業省製造産業局繊維課長 寺村英信氏

カイハラ(株)代表取締役会長 貝原良治氏

大津毛織(株)代表取締役社長 白谷旗世彦氏

岩手モリヤ(株)代表取締役社長 森奥信孝氏

◆閉会の辞

17:10-17:15

繊維科学センター長 浦川 宏

[終了後、意見交換会を行います。是非ご参加ください。]

18:00-19:30 意見交換会

場 所：学生情報センターナジックプラザ東京(講演会と同じ場所)

東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号青山オーバルビル15階

会 費：3,000円

○お問い合わせ・申込み先

《京都工芸繊維大学 繊維科学センター》

E-mail または FAX にて、氏名、所属、連絡先、意見交換会への参加有無をご記載の上、お申込みください。

住所：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

TEL: 075-724-7701

FAX: 075-724-7705

E-mail: fiber@kit.ac.jp

申込締切日：11月20日(金)(ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

京都工芸繊維大学
平成 27 年度教育推進事業
すでいぞ “繊維” 塾 第二弾
～日本の繊維産地に学ぶせんいの真髓～
(公開塾)

主 催：京都工芸繊維大学大学院 繊維学系
先端ファイブ科学専攻

日時・会場・プログラム：

第 1 回 10 月 9 日(金) 14:00～17:00

場所：京都工芸繊維大学 60 周年記念会館

- ・“西陣織” (株)織彦 社長 橋口恒樹
- ・“友禅染” 木村染匠(株) 社長 木村信一
- ・“丹後ちりめん” 芋田織物 社長 芋田 薫

第 2 回 11 月 6 日(金) 14:00～17:00

場所：京都工芸繊維大学 60 周年記念会館

- ・“高島ちじみ”・“高島織物” (株)杉岡織布 社長 杉岡定弘
- ・“パイル織物” 妙中パイル織物(株) 社長 妙中清剛
- ・“播州織” 大城戸織布 社長 大城戸祥暢

第 3 回 11 月 20 日(金) 14:00～17:00

場所：京都工芸繊維大学大学院会議室

- ・“ジーンズ” 倉敷ファッション研究所 代表 吉村恒夫
- ・“セーター” (株)アイソトープ 社長 金沢克哉
- ・“タオル” ツバメタオル(株) 社長 重里豊彦

第 4 回 12 月 11 日(金) 14:00～17:00

場所：京都工芸繊維大学センターホール

- ・“靴下” 岡本(株) 社長 岡本哲治
- ・“皮革” シンヤ工業所 社長 徳永耕造
- ・“ジャージー” (株)森下メリヤス工場 社長 森下展行

第 43 回「感性研究フォーラム」講演会
接客の感性 ― ホテル(ホスピタリティ)
と旅館(おもてなし) ―

主 催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」

協 賛：(一社)日本繊維製品消費科学会、日本色材学会、
(一社)色材協会、(一社)日本家政学会

日 時：平成 27 年 12 月 5 日(土) 13:00～16:00

場 所：武庫川女子大学甲子園会館(旧甲子園ホテル)2 階
研究室

プログラム：

13:00 受付

13:30 講演「温泉旅館 太っ腹女将のこだわりと吹き」
兵庫県湯村温泉 朝野家女将 朝野まり

14:30 講演「グローバリズムとホスピタリティー」

神戸夙川学院大学教授 野本哲平

15:30 デイスカッション

司会 松蔭女子学院大学教授 徳山孝子

定 員：50 名

参加費：一般 3,000 円、学生 1,000 円、

研究委員会会員・協賛団体関係者 1,000 円

申込：参加申込は必要ありません。当日、受付でお支払い
ください。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

(一社)繊維学会内 感性研究フォーラム事務局

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

E-mail:office@fiber.or.jp

第 29 回東海支部若手繊維研究会

共 催：繊維学会東海支部、日本繊維機械学会東海支部、
日本繊維製品消費科学会東海支部

日 時：平成 27 年 12 月 12 日(土) 9:30～19:30(予定)

場 所：金城学院大学研究発表 N1 棟 6F、情報交換会 N1
棟食堂(名古屋市守山区大森 2-1723)
名鉄瀬戸線大森金城学院前駅下車、山手(北)方向
に徒歩 5 分

<http://www.kinjo-gakuin.net/access/index.html>

当日は公共交通をご利用ください。

内 容：一般研究発表、情報交換会

研究発表申込 発表題目、発表者名(共同研究の
場合は発表者に○印)、所属、連絡者名、連絡先(郵
便番号、住所、電話番号、E-mail アドレス)をご
記入の上、E-mail または FAX で、以下の申込先
にお申し込みください。

研究発表申込締切：平成 27 年 10 月 3 日(土)

要旨原稿提出締切：平成 27 年 11 月 14 日(土)

参加申込：氏名、所属、連絡先(郵便番号、住所、電話番
号、E-mail アドレス)をご記入の上、E-mail ま
たは FAX で、以下の申込先に 12 月 5 日(土)ま
でにお申し込みください。

参加費：1,000 円(発表者、学生は無料) 情報交換会費
3,000 円(学生は 1,000 円)

申込先：〒463-8521 名古屋市守山区大森 2-1723

金城学院大学生活環境学部

日本繊維製品消費科学会東海支部 青山喜久子

TEL:052-798-7408(直通) FAX:052-798-0370

(事務)：E-mail: aoyama@kinjo-u.ac.jp

平成27年度 高性能・高機能繊維講座

主催：(一社)日本繊維技術士センター
〈大阪会場〉

日時：平成27年9月5日(土)、9月12日(土)
場所：大阪産業創造館(大阪市中央区本町1-4-5)
受講料：23,000円(テキストおよび副読本含む)
講座内容：高性能・高機能繊維の現状と今後の方向
9月5日(土) 9:00～17:00
アラミド繊維(村山)、ナノファイバー(八木)、不織布(福岡)、高機能加工(嶋田)の現状と今後の方向
9月12日(土) 9:30～17:00
高性能繊維・高機能繊維・高性能汎用繊維(斎藤)、中空繊維学(溝口)、炭素繊維(井塚)の現状と今後の方向
問合せ先：〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-9
繊維輸出会館6F
(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)
TEL:06-6484-6506

〈名古屋会場〉

日時：平成27年9月26日(土)、10月3日(土)
場所：ウインクあいち(名古屋市中村区名駅4-4-38)
受講料：23,000円(テキストおよび副読本含む)
講座内容：産業資材用高性能・高機能繊維の基礎と応用
9月26日(土) 9:30～16:20
汎用化合繊(永安)、スーパー繊維(加藤)、自動車用繊維(斎藤)、炭素繊維(井塚)の基礎と応用
10月3日(土) 9:30～16:50
海洋・農業・土木資材(西村)、エレクトロニクス(岩上)、不織布(野口)、天然繊維(西村)、高機能加工(平手)の基礎と応用
問合せ先：〒460-0011 名古屋市中区大須1-35-18
一光大須ビル7F
(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)
TEL:052-231-3043

平成27年度 JTCC 繊維ベーシック講座

主催：(一社)日本繊維技術士センター
〈大阪会場〉

日時：平成27年11月7日～11月21日 土曜日
計3回

場所：大阪産業創造館 6階会議室 E
受講料：29,000円 定員：100名

〈福井会場〉

日時：平成27年11月14日～11月28日 土曜日
計3回

場所：福井県中小企業産業大学校 第2中教室

受講料：29,000円 定員：50名

〈名古屋会場〉

日時：平成27年11月21日～11月28日 土曜日
計2回

場所：ウインクあいち 会議室

受講料：23,000円 定員：40名

講座の詳細はJTCCホームページ <http://jtcc.c.oocowo> をご参照ください。

問合せ先：〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-9

繊維輸出会館6F

(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)

TEL:06-6484-6506 E-mail: jtcc@nifty.com

第54回機能紙研究発表・講演会 「機能紙・消費者志向から価値主導の時代に向けて」

主催：特定非営利活動法人 機能紙研究会

日時：平成27年10月29日(木) 9:30～18:00

場所：香川県 サンポートホール高松

プログラム：

- ① TEMPO 酸化セルロースナノファイバーを複合化したナノファイバーの作製
愛媛県産業技術研究所 大塚和弘
- ② 熱・光特性を付与した農業用 ETFE フィルムの開発
旭硝子(株) 有賀広志
- ③ (特別講演) 革新的技術の創造をめざす研究開発
花王(株) 細川泰徳
- ④ (特別講演) セバレータの技術動向とリチウムイオン電池のこれからの展開
旭化成(株) 吉野 彰
- ⑤ 不織布マーケットと製造技術 Non-Woven Market and Technology
伊藤忠マシテクノス(株) 張替康夫
- ⑥ グローバルな革新的素材情報プラットフォーム
(株)エムクロッシング 吉川久美子・田邊良一
- ⑦ フレキシブル&プリントエレクトロニクスの最新動向
産業技術総合研究所 鎌田俊英
- ⑧ 紙らしさを追及するペーパーエレクトロニクス開発
大阪大学産業科学研究所 古賀大尚
- ⑨ 診断・検査用ペーパーデバイスの開発

愛媛大学紙産業イノベーションセンター 内村浩美
ポスター研究発表及び新製品展示会を同時開催、交流会の開催、見学会を計画中

問合せ先：〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1

特定非営利活動法人 機能紙研究会

事務局(担当：森川・紀伊)

TEL:0896-58-2055

E-mail: kinoushi@e-kami.or.jp